

令和4年秋の農作業安全確認運動推進会議
2022年8月23日

近年の農作業事故の詳細調査・分析事例

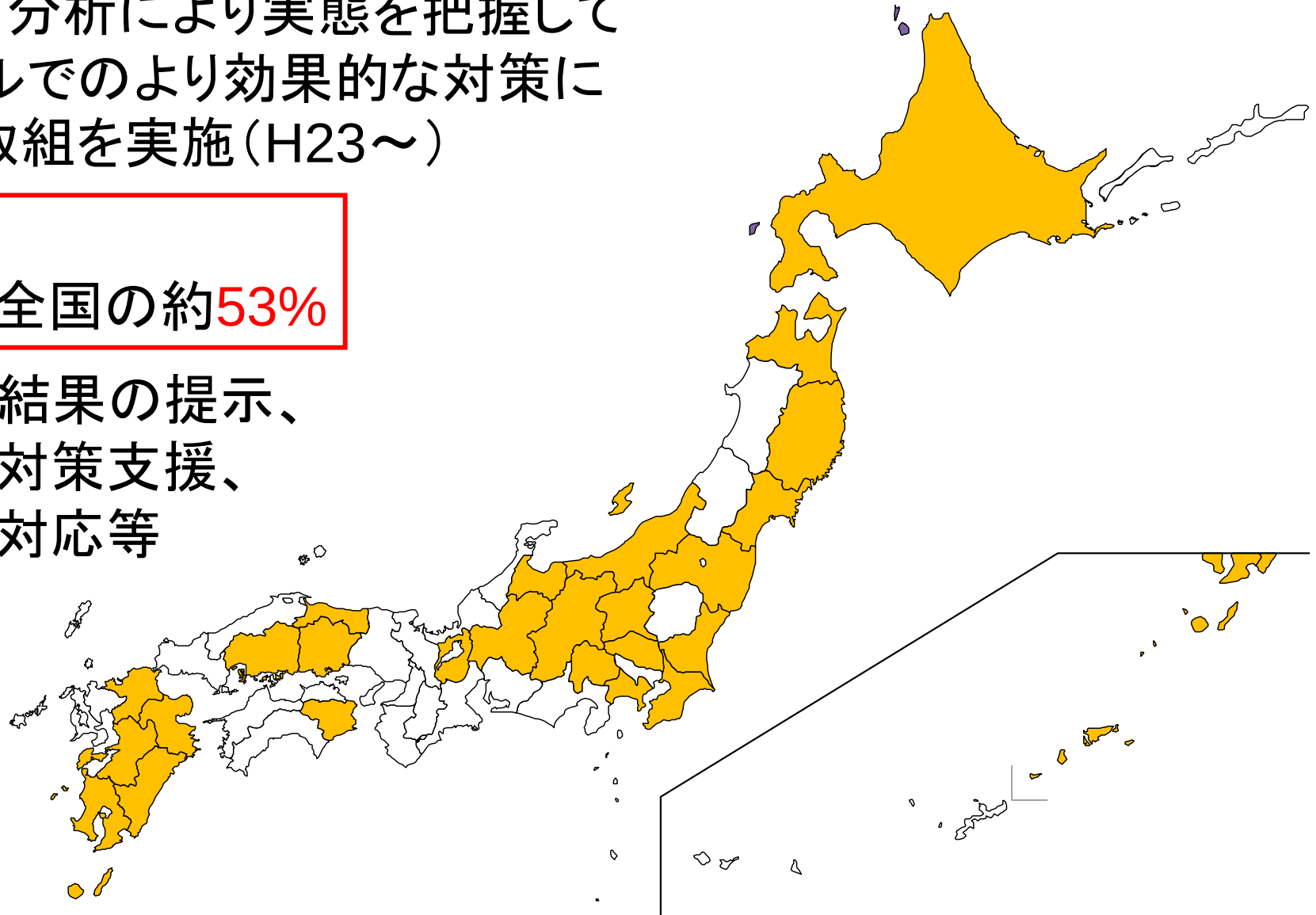
農研機構 農業機械研究部門
システム安全工学研究領域 予防安全システムグループ
皆川 啓子

自治体有志と連携し、農作業事故の詳細調査・分析により実態を把握して地域レベルでのより効果的な対策につなげる取組を実施（H23～）

現在...

25道県：全国の約53%

⇒分析結果の提示、
安全対策支援、
研修対応等



これまで多く紹介されてきた事故形態（例えば乗用トラクタの転落転倒、歩行用トラクタの挟まれ・巻き込まれ等）以外にも、
現場では様々な事故が発生

⇒ **他産業では対策が一般化**している事故形態も多い
⇒ 事例と原因、対策方法の一端を紹介

- 機械周囲での **点検清掃中、補助作業中** の事故（ひかれ）
- **荷役・運搬機械** での事故（挟まれ、ぶつけ、人の転落）
- **荷台上等での作業中** の事故（人の転落）

【概要】

ほ場で耕うん作業後、ほ場進入路にトラクタを停めてロータリに絡んだ雑草を除去中、トラクタが後退して後輪にひかれ⇒**死亡**

ほ場進入路の安全確保



環境

進入路の下には清掃
できるスペースなし

機械

古い＝ブレーキの状態？
走行ブレーキ兼用＝
踏力？（高齢）

環境

傾斜約15°＝
駐車ブレーキ基準超

エンジン停止＋駐車ブレーキ＋輪止め

ギヤを入れても車輪のロックが
かからない機械もあり

事故事例：補助作業時にひかれ

【概要】家族がコンバインで作業中、補助作業（手刈り）を担当していた被災者が、ほ場内でうつぶせで倒れているのを通行人が発見。背中にコンバインにひかれた跡 ⇒ 死亡

機械

6条＝後方が見えにくい
非キャビン＝バックカメラ無？

安全装備（バックカメラ）の活用

共同作業のルール作り
例：補助者全員を目で確認しない
限り後進ギヤには入れない

短辺をもう一行程
刈ろうと後進？

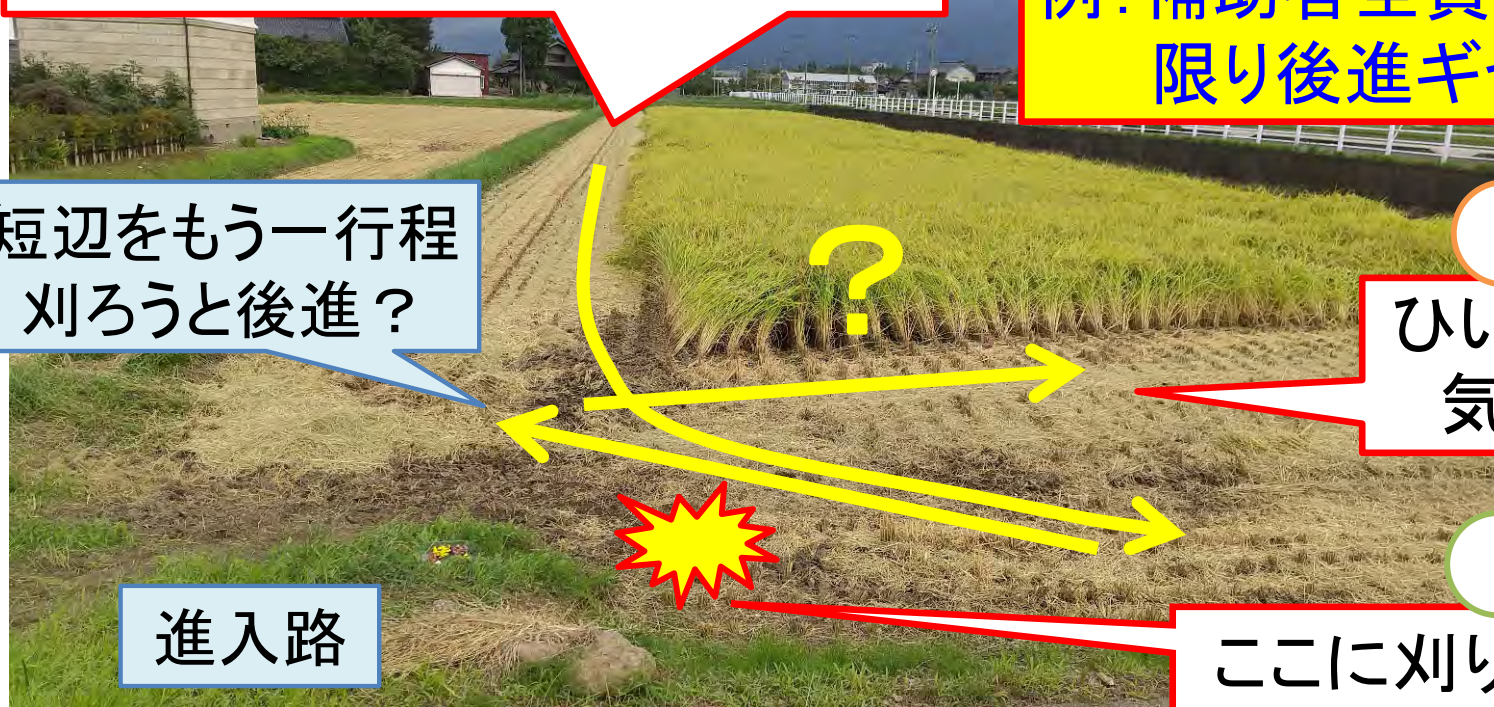
人

ひいたことに
気付かず

環境

ここに刈り残しが出る

進入路



【概要】

貯蔵していたビートの被覆シートを運び出すため、ホイールローダをギリギリまで寄せようと操舵したらバケットが想定以上に横に動き、補助者の足がビートとの間に挟まれ ⇒ **左足けい骨骨折**

機械

中折式 ⇒ 操舵 = バケット左右移動

共同作業のルール作り
例：人が近くにいる間は
機械を動かさない

ビートパイル
があったところ
(点線より左)

寄せようと右へ操舵
⇒ バケットが右に

作業方法

退避を呼び
かけず

環境

ビート堆積

畳んだシートの位置

事故事例：作業部着脱時に挟まれ

【概要】

ベールグラブの油圧ホース交換のため、正面に立って接続部を緩めたところ、油圧が抜けてグラブが手前側に倒れ、足指を挟まれ
⇒右足母指粉碎骨折

作業方法

全体の接地まで確認せず

機械

基部に近付かないと作業できない構造



環境

接地状況が分かりにくい



作業方法

安全靴非着用

置き場とルールの見直し

安全靴を着用

事故事例：作業時にぶつけ

【概要】

ホイールローダに装着したバケットで、コンクリートたたきに溜まっていた水を排出していたところ、段差にバケットが引っかかり、急停止した勢いでフロントガラスに頭を強打 ⇒ **前頭部裂傷等**



作業方法

ヘルメット、シート
ベルト非着用



環境

段差に気付かず



用途外使用は×！

ヘルメットとシートベルトの着用

事故事例：クレーン操作時に接触

【概要】

トラック荷台上的フレコンバッグをリモコン操作のクレーンで持ち上げたところ、フレコンバッグが振れて作業者にぶつかり、荷台から後方に転落 → 右足母指粉碎骨折



正しい玉掛けや
操作を学ぶ！

技能講習等で学ばなければ
気を付けようがない

作業方法

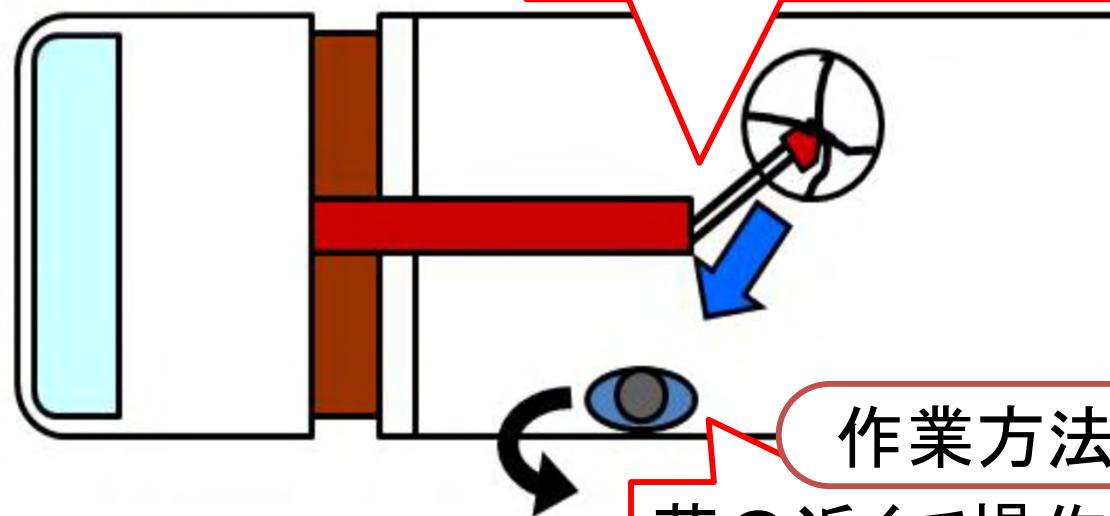
斜め上に巻き上げ
地切り確認不十分

人

焦り、疲労、
不慣れ

環境

夜間作業で暗い



作業方法

荷の近くで操作

事故事例：パレットから転落

【概要】

フォークリフトで上げたパレットに乗って、オニオンピッカの作業台に
日よけ・ほこりよけを張る作業中、足を踏み外して転落 ⇒ 硬膜下血腫

機械

転落防止の構造なし

作業方法

適切な脚立や足場を使用

高所でのヘルメット着用

作業方法

ヘルメット非着用

1mは「一命取る」
高所の危険性の
認識と対策を！

高さ約
1.9m

これらの事故事例から分かること・・・

現場では他産業で行われている安全確保策自体が知られていない
⇒他産業並みの安全推進に向けてこのギャップの解消が重要



農研機構では・・・

今後も地域との連携に基づく事故事例・対策事例の共有と対話ベースの安全研修の推進を通じてギャップ解消に貢献

R3農作業安全総合対策推進 事業 研修テキスト 「農作業安全指導マニュアル」

第2章「労働安全の基本」

- 労働安全の基本的な考え方
- 農作業で使われる機械・作業に関する労働安全衛生法令（作業ポイントや技能講習等）



地域で「真に事故が減る取組」を

○農作業は他産業からみても**相当危険**

➡ まず現場の**危険性を知ってもらう**ことが重要

○事故は**人のせい**にしているだけでは減らない

➡ **機械、環境、作業方法の改善**につなげる発信を

○事故は**地域**によって傾向や問題が異なる

➡ **地域で対策を担う人**が積極的に取り組めるように

進化させる！
地域の取組を

安全支援＝
経営支援！

農家

サポート

「自分は何が
できるか」！

行政

農協

警察

関係団体

研究

普及

販売

救急・医療

関係者全体で支える！

ご清聴ありがとうございました

FIN